

3—2モデル別プログラムの状況

※全424教室の一部を抜粋

① 放課後の効果的な活動プログラムを実施する取組

- 多様なプロジェクト（地域の祭りなどの伝統・文化活動、スポーツ活動、演劇などの芸術活動、自然体験活動など）を展開する取組等
- 放課後の継続的な活動機会の提供に必要な取組（放課後子ども教室と放課後児童クラブの加児童の交流等）等

伝統・文化活動

子ども神楽教室
木工教室
親子お料理教室

スポーツ活動

シドニーオリンピック背泳銀メダリスト中村真衣さん水泳教室
WakuWakuスキースクール
室伏由佳選手・信岡沙希重選手 陸上教室

演劇・芸術活動

ららら・オペレッタ♪
NAGISAの馬頭琴鑑賞教室

自然体験活動

斐伊川源流探検！
水辺の生き物しらべ
親と子のふれあいキャンプ in 雲南
古民家宿泊体験！

児童クラブ連携

忍者 シアターうん・どうかい

活 動 記 録 一 日 誌 一

〔実施日〕平成 20 年 9 月 6 日（土） 10 時 00 分 から
12 時 00 分 まで

プログラム名	子ども神楽教室			
会場	古代鉄歌謡館			
内容	奏楽、舞、共に「しゃぎり」「しんのう」の2曲を交互に練習する			
(使用した教材)	大太鼓、締太鼓、笛、櫛、銅拍子			
参加者数	子どものみ	9	名	内訳
	その他(保護者など)	9		
				小学校1～3年生 9 名
				同 4～6年生 0 名
				未就学児 0 名
				中学生 0 名
参加者・保護者の感想	太鼓に合わせて踊るのが難しかった。先生が丁寧に優しく教えてくれたのがんばって練習できた。たくさんして上手になりたい。最初はみんなの前で踊ることは恥ずかしかったけど、練習していくうちに堂々と楽しく踊れるようになった。(参加者)熱中して練習している姿をみると親としてうれしく思う。これからも続けていってほしい。(保護者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	後から入門した子どももいるが何とか先輩達に混じってできるようになり楽しんだ。子ども達が積極的に一生懸命練習しているのでこちらも気合をいれて指導していきたい。上達することも大切だが、まずは神楽の楽しさや魅力を知ってもらい、神楽が好きになるよう指導していきたい。(講師)続けて参加している子ども、初めて参加した子ども共に上達が早く、いきいきとやっているので、これからもこの神楽教室を続けていきたい。(職員)			

<活動写真>



写真①:太鼓に合わせて上手にできました



写真②:うまく演奏できました

活 動 記 録 一 日 誌 一

〔実施日〕平成 20 年 10 月 19 日 (日) 9 時 30 分 から
12 時 00 分 まで

プログラム名	木工教室		
会 場	雲南市加茂B&G海洋センター		
内 容	○イス作り あらかじめ加工された木材を金槌で釘を打ちつけ、外側からイスの座部、背面の順番に組み立て作った。		
(使用した教材)	木材、釘、金づち		
参加者数	子どものみ	8	名
	その他(保護者など)	4	
		内 訳	
		小学校1～3年生	6 名
		同 4～6年生	2 名
		未就学児	0 名
		中学校生	0 名
参加者・保護者の感想	<p>前回の木工教室では、本棚作りに参加し、とても楽しかったので今回も参加した。最初は、イスを作るのはとても難しそうで不安だったけど、先生が優しく丁寧に教えてくれたので上手に完成することができてうれしかった。今度はもっと難しいものを作りたい。最初は釘をうまく打てなかったけど、やっていくうちに上手に打てるようになった。(参加者)</p>		
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	<p>器用な子ども達が多く、あっという間にイスを完成することができた。木に触れてモノ作りをすることは、子ども達にとってとても貴重で素晴らしい経験になると思うので続けていきたい。(講師)低学年の参加者が多く、イス作りは難易度が少し高いのではないかと心配したが、講師の方や保護者のサポートもあり、スムーズにイスを完成することができた。次回は、材料をのこぎりで切る所からやってみようと思った。(職員)</p>		

<活動写真>



写真①: 釘を打つのは難しいね



写真②: 座り心地は最高!

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成 21 年 2 月 21 日（土） 13 時 30 分 から
16 時 30 分 まで

プログラム名	親子お料理教室					
会場	かもてらす(栄養指導室・研修室)					
内容	糀まめやから講師を招き、話題の生キャラメルづくり。 ①生キャラメル ②きなこ飴					
(使用した教材)	かもてらすの調理器具及び食器。先生が用意された食材。					
参加者数	子どものみ	16	名	小学校1～3年生	5	名
				同 4～6年生	5	名
				未就学児	6	名
				中学校生	0	名
	その他(保護者など)	9	名			
参加者・保護者の感想	生キャラメルが柔らかくて美味しかった。(参加者) 子ども達が大好きなお菓子づくりだったので、つまみ食いをしながら楽しく作れた。持ち帰り分まで作れて満足です。(保護者)					
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	いつもより参加者も多く、未就学児から小学校高学年の子まで幅広く賑やかな教室になった。お菓子に惹かれる子ども達は多いとつくづく感じた。子どもが嬉しそうに食べる姿が印象的だった。(講師)					

<活動写真>



写真①:家族みんなでの参加もありました



写真②:みんなで丸めてこねこね

活 動 記 録 一 日 誌 一

〔実施日〕平成 20 年 8 月 10 日（日） 9 時 00 分 から
14 時 00 分 まで

プログラム名	シドニーオリンピック背泳銀メダリスト中村真衣さん水泳教室														
会 場	雲南市加茂B&G海洋センター プール														
内 容	<p><講話>「栄光・挫折、そして復活」と題した講話では、今まで水泳をやってきた経緯、またオリンピックでメダルを獲得してから挫折を味わったことなど、子どもたちにとって将来の指針となるとても貴重なお話をしていただいた。また水泳教室では、水泳の基本の姿勢や水泳の楽しさなど遊びを交えて教えていただいた。</p>														
(使用した教材)															
参加者数	子どものみ	39	名												
	その他(保護者など)		9	名											
			<table border="1"> <tr> <td>小学校1～3年生</td> <td>15</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>同 4～6年生</td> <td>19</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>未就学児</td> <td>5</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>中学校生</td> <td>0</td> <td>名</td> </tr> </table>	小学校1～3年生	15	名	同 4～6年生	19	名	未就学児	5	名	中学校生	0	名
小学校1～3年生	15	名													
同 4～6年生	19	名													
未就学児	5	名													
中学校生	0	名													
参加者・保護者の感想	<p>オリンピックの時の話や、プールで泳いでいるときに何を考えながら泳いでいるのか、等を話していただきとても面白かった。水泳教室で自分はクロールがあまりうまくできなかったけど、真衣さんが「練習すれば必ずうまくなるよ」と言ってくれたので自信がついた。これからもっと練習して、中村真衣さんのように速く泳げるようになりたい。(参加者)</p>														
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	<p>トップアスリート派遣事業の一環で今回の教室が行われた。今回中村真衣さんという元シドニーオリンピックで背泳の銀メダルを獲得されたトップアスリートの方に子どもたちが直接指導していただけるということは、子どもたちにとって大きな夢を与え、貴重な経験となったことと思う。今回の教室を開催したことによって、今後子どもたちがあらゆることに対して、何か目標をもって行うような力が養われたのではないだろうか。(職員)</p>														

<活動写真>



写真①: 真衣先生が優しく教えてくれたよ



写真②: ストリームラインを意識して泳ぎましょう!

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成 21 年 2 月 1 日 (日) 9 時 00 分 から
17 時 30 分 まで

プログラム名	WakuWakuスキースクール			
会場	琴引フォレストパーク			
内容	午前7時起床 午前9時からスキー教室開始(午後4時まで) スキー教室閉校式後バスで海洋センター移動 午後5時30分海洋センター到着・解散			
(使用した教材)				
参加者数	子どものみ	26	名	小学校1～3年生 9 名
				同 4～6年生 16 名
				未就学児 0 名
				中学校生 1 名
	その他(保護者など)	3	名	
参加者・保護者の感想	初めてリフトに乗って滑った。最初は怖かったけど、慣れてくるととても楽しかった。今度はもっと難しいコースに挑戦してみたい。来年も絶対参加したい。スキーがすごくまくなってうれしかった。最初は全く滑れなかったけど、2日間の練習でリフトに乗って滑れるようになってびっくりした。またスキーをやりたい。(参加者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	やる気を持って楽しそうにやっていたので教えていてとても楽しかった。(講師)2日間のスキー教室で参加者達はそれぞれ成長したように感じた。2日目には全員がリフトに乗って滑れるまで上達した。けが人や病人もなく無事に楽しくスキー教室を終えることが出来てよかった。(職員)			

<活動写真>



写真①:全員がリフトに乗って滑ったよ



写真②:楽しかったよ!またスキーしたいな!

活 動 記 録 一 日 誌 一

〔実施日〕平成 21 年 3 月 1 日 (日) 10 時 00 分 から
12 時 00 分 まで

プログラム名	室伏由佳選手・信岡沙希重選手 陸上競技教室			
会場	加茂中央公園ふれあいの丘多目的広場			
内容	開校式 信岡選手・・・運動前の準備運動、ラダーを使ったフットワークの練習、リレー 室伏選手・・・砲丸投・やり投の紹介や体験、円盤投・ハンマー投の実演など 閉校式			
(使用した教材)	ハンマー、円盤、やり、砲丸、ラダーなど			
参加者数	子どものみ	110	名	小学校1～3年生 32 名
				同 4～6年生 47 名
				未就学児 6 名
				中学校生 25 名
	その他(保護者など)	40	名	
参加者・保護者の感想	信岡選手には、運動をする前のウォーミングアップの仕方や、走る時の基本の足の動かし方など、学校の体育の時間では教えてもらえないことをたくさん教わりました。また、走る時は肘を体の近くで振り、足の裏全体で蹴ることなど、勉強になることばかりでした。。室伏選手は、重たいハンマーを軽々と持ち上げたり、円盤を遠くまで投げるのを見て、本当に驚きました。やりがあんなに軽いとは知らなかったので、びっくりしました。(参加者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	今回のような子どもたちとスポーツを通して触れ合うことはなかなか機会がないので、本当にうれしく思いました。陸上競技は様々なスポーツに共通した動きなので、この経験を生かして、体育の授業や部活の時など「そういえば、こんなことを習ったなあ」など、思いだしてほしいと思います。子どもたちに伝えられたことは少なかったと思いますが、これを機会に陸上競技に興味を持って、この中からオリンピック選手が出ることを期待しています。(講師)			

<活動写真>



写真①習ったことを生かして競争だ！



写真②室伏選手の話すことに興味津津な子どもたち

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成 20 年 9 月 6 日（土） 13 時 00 分 から
15 時 00 分 まで

プログラム名	らららオペレッタ♪			
会場	アスパル小ホール			
内容	永井隆平和記念式典で発表するオペレッタの練習。テーマ「生命・未来・私たちの願い!!!」。 前回の復習で、歌の練習と、音楽に合わせて踊りの練習。			
(使用した教材)	オペレッタ台本			
参加者数	子どものみ	8	名	内訳
	その他(保護者など)	3		
				小学校1～3年生 2名 同 4～6年生 6名 未就学児 名 中学生 名
参加者・保護者の感想	本番まであと少しです。笑顔がいいとほめられました。みんなの息がそろってきているのでこの調子でがんばりたいです。笑顔で踊れるようにしたいです。家でも練習しているのでその成果が少しずつ出ている気がします。楽しみながらがんばりたいです。(参加者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	子どもたちが一生懸命に頑張っている姿を見るとこちらまで嬉しく楽しくなります。本番まであと少し、各々頑張ってください。(講師)			

<活動写真>



写真①:前日の打ち合わせです



写真②:歌をうたいました

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成 20 年 10 月 13 日（日） 10 時 00 分 から
11 時 30 分 まで

プログラム名	NAGISAの馬頭琴鑑賞教室			
会場	チェリヴァホール			
内容	10:00 開演 1、スーホの白い馬 2、スルーハンガイ 3、もののけ姫 4、涙そうそう 5、Amazing Grace 6、アヴァ・マリア 7、天馬 8、(アンコール)秋 10:50 質問 馬頭琴体験			
(使用した教材)				
参加者数	子どものみ	8	名	小学校1～3年生 1 名
				同 4～6年生 0 名
				未就学児 6 名
				中学校生 1 名
	その他(保護者など)	13	名	
参加者・保護者の感想	メロディーがすごくきれいでした。本物を見たのは初めてでした。音楽を聴いて、本のホースの白い馬を思い出しました。馬頭琴を弾かせてもらって嬉しかったです。(子ども) 初めて楽器をマジかで見られて感動しました。(保護者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	小さな子どもからお年寄りまで参加していただき、嬉しく思います。演奏が終わった後に、馬頭琴の体験コーナーをしましたが、時間の都合もあり、全員が出来なくて残念でしたが、みなさんに喜んでいただけたのでよかったです。(講師)			

<活動写真>



写真①: 馬頭琴ってすごくキレイな音



写真②: 難しいなあ

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成 20 年 7 月 28 日（月） 8 時 00 分 から
13 時 30 分 まで

プログラム名	斐伊川源流探検！					
会場	船通山(横田町)					
内容	皆が日頃から親しんでいる斐伊川の源流をたどり、船通山のふもとから鳥上滝まで登り、豊かな自然の恵みに向き合う。また、山歩きのコツを教えてもらい、山歩きに親しむ。					
(使用した教材)						
参加者数	子どものみ	9	名	小学校1～3年生	4	名
				同 4～6年生	4	名
				未就学児	1	名
				中学校生	0	名
	その他(保護者など)	1	名			
参加者・保護者の感想	途中すごく大きなナメクジを発見したり、きれいな水に触れてとても気持ちよかったです。(参加者)幼稚園児の子どもも頑張って最後まで登ることが出来、皆怪我もなく楽しんでいました。参加した子どもは、講師の話をよく聞いており、道中の植物の名前を覚えて帰るなど、遊びの中から多くを学んだように思う。(保護者)					
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	集合場所までのバスを乗り間違えて、参加をあきらめた子どもが一人いたのが残念だった。また、申込受付の段階で、参加者リストへの記入漏れがあり、当日持ってくるものの連絡がいない子どもがいて、急速コンビニでおにぎりを買って与えるなどの対処を行った。申込の受付方法を見直したい。(職員)					

<活動写真>



写真①: 源流を辿り、頑張って歩いています



写真②: 講師さんから多くの知識をもらいました

活 動 記 録 一 日 誌 一

〔実施日〕平成 20 年 8 月 9 日（土） 10 時 00 分 から
12 時 00 分 まで

プログラム名	水辺の生き物しらべ					
会場	雲南市加茂町赤川河川敷					
内容	まずラメールから中ノ大橋付近の河川敷までウォーキングし赤川に到着。その後子供たちが手にアミを持ち、水中にいる生き物を探った。また前もって捕まえてきたナマズ・カメなどの生態などを講師の方に教えていただいた。最後にカメを川に放流し、生き物の大切さを学んだ。					
(使用した教材)	アミ、水槽、おけ					
参加者数	子どものみ	14	名	小学校1～3年生	9	名
				同 4～6年生	0	名
				未就学児	5	名
				中学校生	0	名
	その他(保護者など)	15	名			
参加者・保護者の感想	いつも見ている川にこんなにゴミが落ちているとは思わなかった。生き物も小さい魚しかいなかったけど、大きいナマズに触ることができてとても面白かった。ナマズがめるめるしていて気持ち悪かった。川は冷たくて気持ちよかった。また、川で遊びたい。(参加者)					
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	普段何気なく見ている赤川と川に入って直接生き物に触れるものとは全く違い、子どもたちが生き生きと遊んでいるのが感じられた。最近地球の環境について騒がれているが、魚を探しながらゴミを拾ったり最後には取って魚を放流したりと、水などの資源の大切さを教えた。また、子どもたちが家に帰って保護者の方に話して、生き物のこと・環境のことなどについて考えてもらえれば、この教室の意義が深まるのではなかろうか。(講師)					

<活動写真>



写真①:ナマズにさわったよ



写真②:これ何かな～

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成 20 年 8 月 23 日（土） 6 時 00 分 から
22 時 00 分 まで

プログラム名	親と子のふれあいキャンプin雲南					
会場	加茂中央公園ふれあいの丘、斐伊川					
内容	起床、ラジオ体操、朝食(サンドウィッチ)・昼食(おにぎり)づくり、斐伊川川流れサバイバルゲーム(夕食の材料を取るゲーム)、夕食づくり、星空観察(スクリーンによる学習)、就寝					
(使用した教材)						
参加者数	子どものみ	11	名	小学校1～3年生	2	名
				同 4～6年生	9	名
				未就学児	0	名
				中学校生	0	名
	その他(保護者など)	8	名			
参加者・保護者の感想	川の流が速くて少し怖かったけど、大人の方がたくさんいて「もうすこしでゴールだからがんばろう」など声をかけてくれたので、最後まで頑張ることができてよかった。サバイバルゲームでは、獲得した食料を使い、みんなで協力してご飯を作ることができてよかった。星空観察は雲が多くて星を見ることができなかったのも、とても残念だった。(参加者)					
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	天候が心配されていた斐伊川川流れだったが、徐々に晴れ間が差し無事に行えると判断し当初のプログラム通り活動した。川の水温が低かったため、途中で川から上がる子もいたが、怪我・事故などなく無事にゴールへ辿り着いた。星空観察では、空が雲で覆われ星を見ることができなかったが、講師の方に星の素晴らしさ・不思議さを教えていただき、子どもたちにとってとても貴重な経験となった。(職員)					

<活動写真>



写真①:おいしいご飯ができました



写真②:川の水が冷たくて気持ちいい

活 動 記 録 一 日 誌 一

〔実施日〕平成 20 年 9 月 27 日（土） 9 時 30 分 から
9 月 28 日（日） 11 時 30 分 まで

プログラム名	古民家宿泊体験！					
会場	食の杜・室山農園「茅葺きの家」					
内容	古民家に泊まって昔ながらの生活を体験しよう！・農園での農業体験！・食事づくり・搾乳体験・粟拾い・星空観察・馬とのふれあい～乗馬体験・箸づくり・いろいろを囲んでの食事などもりたくさん！					
（使用した教材）						
参加者数	子どものみ	5	名	小学校1～3年生	2	名
				同 4～6年生	3	名
				未就学児	0	名
				中学校生	0	名
	その他（保護者など）	0	名			
参加者・保護者の感想	保護者：「とても楽しく2日間を過ごしたようで、帰ってからいろいろ話してくれました。また機会あれば参加させたいと思います。」年配の地域コーディネーターによる、数々の昔の生活の知恵を教わったり、アウトドア専門のスタッフが薪割りや火起こしをしたりと、いろんな得意分野を持ったスタッフがいて、教育的にも大変意義深い活動となった。現地で調達した食材を使っでの食事はとてもおいしく、子どもたちも「おいしい」と感激していた。牛舎で子牛にミルクを飲ませたり、搾乳体験をしたり、初めは怖がりながらも徐々に慣れていく子もいた。馬とのふれあいの後は馬に乗ったりもし、子どもらは大変興奮していた。「もっとやりたい」との声					
特記事項 <small>（講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入）</small>	コーディネーターから：今回は非常に盛りだくさんだったが、次回はこの中から1つや2つのプログラムだけを抽出して、それだけでもっと深く掘り下げるべきだ。子どもにもっと辛さも味わわせ、労働の達成感など感じてもらいたい。					

<活動写真>



写真①：自ら取った食材で食事を作りました



写真②：乗馬にも挑戦して、盛り沢山の内容で

活 動 記 録 一 日 誌 一

〔実施日〕平成 20 年 8 月 8 日（金） 14 時 00 分 から
16 時 00 分 まで

プログラム名	忍者 シアターうん・どうかい				
会場	アスパル				
内容	多目的ホールに集合。学年男女ごとにチーム編成。				
(使用した教材)					
参加者数	子どものみ	82	名	小学校1～3年生	37 名
				同 4～6年生	45 名
				未就学児	0 名
	その他(保護者など)	25	名	中学校生	0 名
参加者・保護者の感想	思っていたのと違ったけど、日頃思いつかないような動物のポーズをやっておもしろかった。高校生のお兄さんに優しくしてもらってうれしかった。(参加者)				
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)					

<活動写真>



写真①: チームで協力してがんばりました



写真②: 仲良くなりました

② 地域特性等を踏まえた先進的な取組

○都市部や農村部等における子供の通学環境を踏まえた、複数の市町村、学校、地域の施設等が連携した取組等

竹筒ごはんとバーベQ！昆虫採集

忍者 鉄山師のまちを走る

忍者 波多街道で宝を探せ

トロッコ列車とガラス工房体験

伝えたい、美しい日本のことば ～澤村藤十郎ワークショップ～

ライスセンター見学会とおむすび作り

炭焼き&山の幸パーティー

秋の遠足「巨大迷路とみかん狩りを楽しもう」

「おはなしたまご」のお話の会

出前教室（キッズバスケット・マット運動）

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年8月4日(月) 8時00分から
17時00分まで

プログラム名	竹筒ごはんとバーベQ! 昆虫採集			
会場	健康の森(木次)			
内容	往路は約40分かけての山歩きをし、健康の森へ到着。班内で役割分担をし、木切れを集め、火をおこし、自分たちで細工をした竹筒でご飯炊きを行う。炭火でバーベQを楽しんだ後、昆虫の先生から虫取りの技を教わり、昆虫採集を行う。			
(使用した教材)	昆虫の飼育の仕方資料(講師持参)			
参加者数	子どものみ	23	名	小学校1~3年生 14名
				同 4~6年生 7名
				未就学児 2名
				中学校生 0名
	その他(保護者など)	5	名	
参加者・保護者の感想	往路の山歩きは、約45分の登り坂でしたが、幼稚園児も含め、全員が最後まで登ることが出来、達成感がありとてもよかった。竹筒ごはんはとてもおいしかった。昆虫採集では、事前に罌をしかけていたが、炎天下のためかあまり捕まえることが出来ず、子どもたちは少しがっかりした様子でしたが、長時間にわたる活動でも、子どもたちの体力回復の早さに驚かされた。(保護者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	往路は小さい子どもにはきつい山登りとなったが、全員無事に到着してそれぞれに達成感を感じていた様子。昆虫が捕れなかったのが、唯一残念だったが、怪我もなく、自然を満喫できる教室だったと思う。(職員)			

<活動写真>



写真①: 竹を切るのは大変だな



写真②: おいしそうな匂いがしてきたぞ

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年8月7日(木) 13時00分から
15時30分まで

プログラム名	忍者 鉄山師のまちを走る			
会場	吉田町			
内容	商工会の2階に集合し、風呂敷を頭巾に見立てて、忍者修行開始。商工会の2階に集合し、風呂敷を頭巾に見立てて、忍者修行開始。目的地 お寺に到着、途中に拾った紙からのヒントでなぞ解き。目的地 お寺の境内で大人対子どもで宝物を奪い合う。最後に、忍者修行を終了したことを示す巻物を手渡す。			
(使用した教材)				
参加者数	子どものみ	45	名	小学校1～3年生 8名
				同 4～6年生 37名
				未就学児 0名
				中学校生 0名
	その他(保護者など)	15	名	
参加者・保護者の感想	風呂敷を頭に巻いた頭巾がおもしろくてかっこいい。尾行をしながら歩いたので、いつもの町が違う町に思えた。お寺の境内でチャンバラができて楽しかった。(参加者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	尾行しながら通常の町中を走り回る活動だったので事故や苦情を心配したが、住職を始め吉田町の皆様のご理解を得て、無事終了することができた。お寺の境内で、お経を聴きながらチャンバラをするなど、子どもたちにとって、この活動が夏休みの貴重な体験のひとつとして、楽しんでもらえたらうれしい。(職員)			

<活動写真>



写真①: 忍者に変身!!



写真②: にん、にん

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年8月9日(土) 13時30分から
16時00分まで

プログラム名	忍者 波多街道で宝を探せ					
会場	掛合町					
内容	吉田町鉄山師の町を尾行しながら、走りまわる。目的地 お寺に到着、途中に拾った紙からのヒントでなぞ解き。目的地 お寺の境内で大人対子どもで宝物を奪い合う。最後に、忍者修行を終了したことを示す巻物を手渡す。					
(使用した教材)						
参加者数	子どものみ	45	名	小学校1～3年生	8	名
				同 4～6年生	37	名
				未就学児	0	名
				中学校生	0	名
	その他(保護者など)	15	名			
参加者・保護者の感想	忍者修行を終了したことを示す巻物をもらえたことがすごくうれしかった。みんなで協力してがんばった。なぞ解きが難しかったけど、友達と一緒に考えて解くことができた。本当の忍者になった気分だった。(参加者)					
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	今回もたくさん子どもたちが参加し、元気いっぱい走り回っていた。忍者になりきることで、普段の同じ景色も違って映り、大人にとってもとても面白い体験だった。是非また実施したい教室である。(職員)					

<活動写真>



写真①:みんなで協力してがんばるぞー



写真②:えい!えい!おー!!!

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年8月12日（火） 9時40分から
17時00分まで

プログラム名	トロッコ列車とガラス工房体験					
会場	奥出雲横田					
内容	JR木次駅からトロッコ列車に約1時間乗って奥出雲町横田へ。JR出雲横田駅から徒歩15分のびいどろぎやまん瓶耀舎で風鈴の絵付け、ガラス吹きを体験見学。その後、昼食休憩をとり徒歩1分の刀剣館で小林刀匠の説明で館内見学。刀剣館から徒歩1分、島根デザイン専門学校の講師 高梨薫先生より校内教室案内、学生の作品について説明を聞いた。					
(使用した教材)						
参加者数	子どものみ	23	名	小学校1～3年生	13	名
				同 4～6年生	8	名
				未就学児	2	名
				中学校生	0	名
	その他(保護者など)	6	名			
参加者・保護者の感想	風鈴に絵を描いた。風鈴が丸くて描きにくかったけど、上手に描けたと思う。今度はガラス吹きをしてみたい。(風鈴参加者) ガラスが柔らかくてびっくりした。先生に手伝ってもらってガラスを作った。出来上がりがたのしみ。(ガラス吹き参加) 子供たちが楽しんでいたので、参加してよかったです。子供が楽しかったと大喜びで帰ってきました。(保護者さんからのお礼の電話あり)					
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	トロッコ列車の楽しさが存分に楽しめた様子。大人も子どもも日常から抜け出して、新鮮な小旅行となった。ガラス吹きは、熟練工の指導で、小さい子どもも上手にやっていた。(職員)					

<活動写真>



写真①:トロッコ列車に乗って出発です



写真②:貴重なガラス吹き体験です

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年9月7日(日) 14時00分から
16時00分まで

プログラム名	伝えたい、美しい日本のことば～澤村藤十郎ワークショップ～			
会場	掛合小学校体育館			
内容	あいさつ→第1部 トークショー→第2部 琵琶演奏、トークショー→花束贈呈			
(使用した教材)				
参加者数	子どものみ	81	名	内訳
				小学校1～3年生 6名
				同 4～6年生 37名
				未就学児 4名
				中学校生 34名
	その他(保護者など)	56	名	
参加者・保護者の感想	平家物語は難しいと思っていたけど、わかりやすくお話をしていただき、少し興味がわきました。琵琶演奏がとても上手で素敵でした。途中の大きな音になるところがあって驚きました。(参加者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	澤村藤十郎丈と、橘幸治郎さんには平家物語の見どころやことばの大切さ、舞台の楽しみなど語っていただきました。そして、琵琶奏者の岩佐鶴丈さんには「耳なし芳一(ほういち)」の原版「耳きれ芳一」の演奏をしていただきました。あらためて日本のことばの優しさ、美しさに親しみ、普段は味わえない貴重な一時でした。(職員)			

<活動写真>



写真①:岩佐鶴丈さんの琵琶演奏



写真②:トークショー

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年9月28日(日) 13時00分から
16時00分まで

プログラム名	ライスセンター見学会とおむすび作り			
会場	大東公園市民体育館			
内容	JAの農畜産物集出荷施設を会場に子ども教室を開催。絵本「おむすびくん」を読み聞かせ、ミュージシャン宙太さんに雲南オリジナル曲を披露してもらう。炊きたての新米を準備し、参加者にのりや梅干で三角や丸い形など好きなようにおむすび作りをしてもらう。ライスセンター見学はJAの職員さん説明してもらう。収穫した籾がどのようにしてお米になるかどうかなどを説明を受け広い保管倉庫も見学した。最後は作ったおにぎりとお汁でお米に感謝し、食育の大切さを感じながら会食した。			
(使用した教材)				
参加者数	子どものみ	14	名	内訳
				小学校1～3年生 7名
				同 4～6年生 3名
				未就学児 4名
				中学校生 0名
	その他(保護者など)	6	名	
参加者・保護者の感想	おにぎりを作るのが楽しかった。米の倉庫は大きくて寒いことが分かった(温度が15度に設定)(参加者) 籾から米になる過程をしらなかつたので子どもと一緒に勉強させてもらった。食育の大切さが分かった。(保護者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	子どもはもとより保護者も収穫した籾がどのようにして米になるか普段見ることが出来ないのが感動された様子だった。食の安全について理解し、食事に関心を持ってもらえたようだ。(職員)			

<活動写真>



写真①:米の倉庫は大きかったよ



写真②:おいしいおにぎりができました

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年11月16日（日） 10時00分から
14時00分まで

プログラム名	炭焼き&山の幸パーティー！					
会場	波多公民館					
内容	掛合の波多公民館へ。 かまたろう工房さんから炭焼きについての説明を聞いた後、実際に炭焼き体験をする。 機械で竹を割る班と、切った竹を釜の中に並べる班に分かれて作業を行う。 竹が並び終わった後、釜の入り口を赤土粘土でふたをし火を入れる。 お昼は公民館に戻り、新米を自分たちでおにぎりにして、しし汁と一緒に頂く。					
(使用した教材)	竹、食材					
参加者数	子どものみ	24	名	小学校1～3年生	14	名
				同 4～6年生	6	名
				未就学児	4	名
				中学校生	0	名
	その他(保護者など)	7	名			
参加者・保護者の感想	竹を切るのが大変だったけど楽しかった。竹を機械で切るのが少し怖かったけど、先生と一緒にやったのがんばってできた。早く、炭になった竹をみてみたい。次の教室が楽しみ。おにぎりとしし汁がとてもおいしかった。(参加者)					
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	天気が心配されたが小雨程度で済んだ。炭焼きは普段は馴染みがなく、子どもたちには新鮮だったと思う。釜のふたをする作業はかまたろう工房さんにやって頂いたが、子どもたちが疲れてしまっていて他のことに気を取られていたのが残念だった。ただその時に、木になっているざくろやむかごなど自然と戯れる時もあったのでよかった。作業のあとはお腹がすいていて、子どもたちが美味しそうにしし汁とおにぎりを頂いた。地域の方々のご協力があったのプログラムだった。(職員)					

<活動写真>



写真①:機械で竹を割って、釜に並べます



写真②:自分たちで盛り付けていただきます

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年11月23日（日） 9時00分から
14時30分まで

プログラム名	秋の遠足「巨大迷路とみかん狩りを楽しもう」					
会場	陽だまりの丘					
内容	陽だまりの丘から佐世神社までのウォーキング(片道3キロ) 佐世神社の説明、しいの実拾い 絵本「おむすびくん」の読み聞かせ、おむすび弁当を食べる 巨大迷路、みかん狩り、へその緒神社見学					
(使用した教材)						
参加者数	子どものみ	22	名	小学校1～3年生	10	名
				同 4～6年生	11	名
				未就学児	0	名
				中学校生	1	名
	その他(保護者など)	5	名			
参加者・保護者の感想	ウォーキングは疲れたけど、友達と一緒にだったのであつという間だった。巨大迷路が楽しかった。みかんがいっぱい取れてうれしかった。初めてみかん狩りをしたのでとても楽しかった。迷路は難しかったけど、ゴールできたときはすごくうれしかった。(参加者)					
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	陽だまりの丘では佐世神社にまつわるお話やへその緒神社の説明をしていただいて、子ども達は貴重な話を聞いた上で見学することができた。盛りだくさんの内容で終始笑顔が溢れていた。大きな怪我なく、楽しい遠足になった。(職員)					

<活動写真>



写真①:おいしそうなみかんだね



写真②:お兄さん優しかったよ

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年11月24日（月） 10時30分から
14時30分まで

プログラム名	「おはなしたまご」のお話の会			
会場	午前：チェリヴァホール和室、午後：三刀屋健康福祉センター和室			
内容	ストーリーテリング(3話) なら梨とり あなのはなし ホレおばさん(ババヤガーの白い鳥)			
(使用した教材)				
参加者数	子どものみ	19	名	内訳 小学校1～3年生 15名 同 4～6年生 2名 未就学児 2名 中学生 名
	その他(保護者など)	7	名	
参加者・保護者の感想	初めて聞いたお話だったけど、とてもわくわくドキドキして楽しかった。今度は違うお話を聞いてみたい。また、参加したい。楽しかったので今度は友達を誘って参加したい。(参加者)普段、あまり本を読まないの、これを機会に本が好きになってほしい。(保護者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	子どもたちが知らないお話で、しーんとして聞き入っていた。参加者も多く、絵本への興味が高いことがわかる。今後も続けていきたい。(職員)			

<活動写真>



写真①:どんな話をするのかな?



写真②:今日は3つのお話をします

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成 21 年 2 月 26 日 (木) 15 時 00 分 から
16 時 30 分 まで

プログラム名	出前教室(キッズバスケット・マット運動)			
会場	久野小学校体育館			
内容	全員で体操・柔軟 ・高学年はバスケット(ハンドドリブル・ドリブルシュート・ゲーム) ・低学年はマット運動(ダッシュ・前転・後転・さかだち・柔軟)			
(使用した教材)	体操マット、バスケットボール			
参加者数	子どものみ	26	名	小学校1～3年生 12 名
				同 4～6年生 14 名
				未就学児 名
				中学校生 名
	その他(保護者など)	6	名	
参加者・保護者の感想	わくわく教室は参加したくても会場が遠くて参加できなかったけど、学校の体育館まで来てもらってバスケットやマット運動ができて楽しかった。体操マットを使ったいろいろな運動が専門的に教えてもらえてよかった。(参加者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	初めはかたくなる子どももいたが、徐々にうちとけ最後にはみんなが楽しんで運動していたので出前教室の必要性を再確認できた。(職員)			

<活動写真>



写真①:ごろごろ～と転がります



写真②:細かくドリブル!!!

③ 障害のある子どもの活動機会の充実のための取組

○個々の状況に配慮した取組や特別支援学校と連携した取組等

講演&トークセッション 感覚統合ってなに？

うまはともだち

活動記録 一日誌

〔実施日〕平成20年10月11日（土） 14時00分から
16時00分まで

プログラム名	講演&トークセッション 感覚統合ってなに？					
会場	ラメール(ふれあいホール)					
内容	特別に支援を要する児童、生徒、保護者、関係者を対象として、県立広島大学教授の土田玲子先生とNPO法人インフォメーションセンター代表理事の寄田勝彦先生をお招きし、それぞれの講演と両先生によるトークセッションを行った。講演では、専門的な観点からのお話と、実践に基づく事例をお話し頂き、トークセッションでは活発な意見交換を頂いた。					
(使用した教材)						
参加者数	子どものみ	16	名	小学校1～3年生	8	名
				同 4～6年生	2	名
				未就学児	0	名
				中学校生	6	名
	その他(保護者など)	121	名			
参加者・保護者の感想	教育、セラピー、それぞれの第一線で活躍する先生方の事例を交えたお話を伺うことができ、参考になる点がたくさんあった。(参加者)					
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	感覚統合理論は、学習や行動、注意集中、対人関係の苦手などを持つ子どもたちの理解と支援のために、アメリカの作業療法士エアーズ博士によって体系化されたもので、日本でも様々な分野で、この理論による子どもの理解の仕方が注目されている。 今回、感覚統合のスペシャリストである土田先生の事例を交えたお話を伺い、感覚統合について学ぶとともにセラピーの実践に携わる寄田先生のお話を伺うことができた。 予想を上回る参加者があったが、関心の高さを示すもので、私たちもしっかりと学び、少しでも役立つプログラムづくりを行う必要があると感じた。(職員)					

<活動写真>



写真①:土田先生の講演。



写真②:寄田先生の講演。

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年11月22日(土) 10時00分から
12時00分まで

プログラム名	うまはともだち					
会場	雲南TRC					
内容	特別に支援を要する児童、生徒を対象とした教室 馬のお世話、えさやり、馬とふれあう、馬に乗ってみる					
(使用した教材)						
参加者数	子どものみ	5	名	小学校1～3年生	1	名
				同 4～6年生	4	名
				未就学児	0	名
				中学校生	0	名
	その他(保護者など)	0	名			
参加者・保護者の感想	馬に乗るのは2回目だけど、まだ少し怖い。でもとても楽しい。また、この教室を開いてほしい。馬の背中思ったよりもずっと高く、歩くと揺れ、気持ちがいい。(参加者)					
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	特別に支援を要する児童、生徒を対象とした教室として開催した。参加者は前回と同じ5名で、残念ながら新しい参加者は無かったが、次回開催への要望は強かった。 馬は誰隔てなく正直に接し、嫌な時は嫌がるし、嬉しい時は嬉しいそぶりをする。子どもたちは自分がお世話をしなければ馬も何も返してくれないので、一生懸命にお世話をした。これが子どもたちにとって大変良い効果をもたらすように感じた。(職員)					

<活動写真>



写真①:一生懸命お世話しました



写真②:乗ることも慣れてきました

④ 地域の多様な主体が連携・協力した取組

- 民間団体（社会教育関係団体やNPOを含む）と教育委員会及び福祉部局が連携して実施する取組等
- 行政、学校、PTA、企業・商工会議所、社会教育関係団体、NPO、子育て・福祉関係団体、文化・スポーツ団体など地域ぐるみで組織される団体と連携した取組等

Meets the World（小学生クラス）

夏休みチャレンジ学習教室

わくわく親子で水遊びをしよう

科学のひろば～ライトプレーンを作ろう！～

キッズバイクチャレンジ

三瓶研修会

加茂町のウォーキングマップを作ろう

島根SANYOソフトボール教室

3B体操キッズ

親子夢未来コンサート～六子（ろこ）ライブ！～

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年 8月 7日(木) 9時00分から
10時00分まで

プログラム名	Meets the World(小学生クラス)					
会場	B&G海洋センター					
内容	国際交流員ロジャーさんとお友達の出身地オーストラリアとカナダの国柄や文化について、写真や絵を見ながら楽しく学ぶ。また、英語のネイティブな発音に親しみ、楽しく正しく英語を学ぶ。					
(使用した教材)	国紹介の写真、発音練習用のカード(講師の私物)					
参加者数	子どものみ	3	名	小学校1~3年生	2	名
				同 4~6年生	0	名
				未就学児	1	名
				中学校生	0	名
	その他(保護者など)	1	名			
参加者・保護者の感想	少人数のレッスンだったが、とても親しみやすく、楽しい授業でした。子どもが積極的に発言し、発音が自然に身につくような指導でした。幼稚園児の子どもも一緒に参加し、楽しそうでした。(保護者)					
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	最初は、恥ずかしがっていてなかなか発言してくれませんでした。最後の方になると積極的に発言してくれました。低学年の参加者ばかりでしたが、集中してレッスンすることができました。この教室を通して、英語に興味を持ってくれるとうれしいです。(講師)					

<活動写真>



写真①: 他国の文化のお勉強です



写真②: 本物の発音を習っています

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年 8月25日(月) 10時00分から
12時00分まで

プログラム名	夏休みチャレンジ学習教室			
会場	チェリヴァホール			
内容	島根大学から講師を招き、子どもたちの夏休みの課題を進めたり苦手な科目を楽しいクイズ形式で進めながら勉強した。			
(使用した教材)				
参加者数	子どものみ	2	名	内訳
				小学校1～3年生 0名
				同 4～6年生 2名
				未就学児 0名
				中学校生 0名
	その他(保護者など)	0	名	
参加者・保護者の感想	初めてのチェリヴァでの教室で緊張したけど、最後には楽しく漢字のクイズができて楽しかった。毎年、夏の宿題でわからないところは空白のまま学校に提出していたが、今回このチャレンジ学習教室に参加して全ての空白を埋めて良かった。(参加者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	最初は子どもたちともぎこちなかったが、30分もしたら、いろいろ分からないところなど聞いてきてくれて良かった。教育実習とは違い、短い時間で教えるというのは難しかったが、子どもたちが頑張ってくれてすらすら問題を解いていくことができた。(講師)			

<活動写真>



写真①:分からないところを教えてもらいました。



写真②:漢字クイズで楽しく勉強できました。

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年12月13日(土) 9時30分から
15時00分まで

プログラム名	加茂町のウォーキングマップを作ろう			
会場	加茂町周辺			
内容	○ヤマタノオロチの伝承地を巡る加茂町10kmコース 準備体操→神原神社→赤秦神社→八口神社(草枕)→尾留神宮旧社地→御代神社にて昼食 海洋センターでまとめ、感想			
(使用した教材)				
参加者数	子どものみ	6	名	小学校1～3年生 4名
				同 4～6年生 1名
				未就学児 0名
				中学校生 1名
	その他(保護者など)	1	名	
参加者・保護者の感想	友達や知り合いのお家を知ることができて良かった。色々と神社を見て、すごく古さを感じた。ヤマタノオロチを宝剣の天叢雲剣(あめのむらくものつぎ)で倒し、オロチの尾が斬り留められたと聞いて驚きました。(参加者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	新聞やマスメディアによると、最近の子どもたちはテレビゲームや屋内でしか遊ばないという傾向が見られるが、今日参加した子どもはとても明るく元気よく、挨拶もしっかりとされていて驚いた。加茂町のことを子どもたちにもっと知ってもらい、今後も学習してほしい。(講師)ヤマタノオロチの伝承地を探訪し、加茂町の歴史を再認識することを目的として行った。今後は、町中などその他の場所を歩き、色々なルートのウォーキングマップを作っていきたいと思う。(職員)			

<活動写真>



写真①: 赤秦神社について学習する



写真②: 尾留大明神旧社地で小林さんのお話を聞く子どもたち

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年9月6日(土) 14時00分から
16時00分まで

プログラム名	わくわく親子で水遊びをしよう			
会場	ケアポートよしだ			
内容	水慣れ ウォーキング ボールをつかった遊び 浮き輪を使って親子で遊ぼう			
(使用した教材)	ビートバン、ヌードル、ボール			
参加者数	子どものみ	9	名	内訳
	その他(保護者など)	4		
				小学校1～3年生 9名 同 4～6年生 0名 未就学児 0名 中学生 0名
参加者・保護者の感想	ビートバンを使った遊びが楽しかったです。水が大好きになりました。次回も参加したいです。(参加者)前回参加できなかったのが今回は楽しみにきました。親切な指導で子どもと一緒に触れ合えてよかったです。(保護者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	水泳のできる子どもが多かったので、安全に注意して指導しました。前回よりも積極的に行動してくれたので内容のある良い教室になったと思います。(講師)子ども達は、リラックスした様子で楽しそうに教室に参加していました。(職員)			

<活動写真>



写真①:水慣れからスタートです



写真②:ヌードルを使って遊びました

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年9月7日(日) 13時30分から
17時00分まで

プログラム名	科学のひろば～ライトプレーンを作ろう!～			
会場	アスパルアリーナ&娯楽音楽室			
内容	制作→フライトコンテスト			
(使用した教材)	コンデンサプレーン はさみ ドライバー 木工ボンド			
参加者数	子どものみ	8	名	小学校1～3年生 5名
				同 4～6年生 名
参加者数	子どものみ	8	名	未就学児 3名
				中学校生 名
参加者数	その他(保護者など)	6	名	
参加者・保護者の感想	最初つくるのが難しかったけど、すごくよく飛んで嬉しかった。(飛行時間が)3位で悔しい、1位になりたかった。まっすぐ飛びすぎて壁にあたってしまい、飛行時間が少なく悔しかった。次回あればぜひ参加したい。(参加者)子どもには少し難しいのではと思ったが、集中して話を聞いていた。大人が夢中になってしまった。(保護者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	参加された児童さんが、熱心に工作されこちらも楽しくレクチャーをすることができた。最後にフライトコンテストを行いました。全員上手く飛行でき大変安心しました。今後もこのようなりか教室を開催していただけると、とてもうれしいです。時間通り進行できなかったことをお詫びします。(講師)			

<活動写真>



写真①:細かい作業がたくさんあります



写真②:羽をつける作業

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年11月1日(土) 14時00分から
16時00分まで

プログラム名	キッズバイクチャレンジ					
会場	木次町斐伊川河川敷					
内容	○スポーツ自転車教室 開校式 → 準備運動、自転車のメンテナンス(タイヤに空気を入れたり、自転車をキレイにしてあげる) 自転車に乗る基本の姿勢・ペダリング・ブレーキの使い方 自転車を使った遊び(飛行機バランスゲーム、だるまさんが転んだ) MTBコースの試走 → 閉会式(参加者に修了証を贈呈)					
(使用した教材)	自転車、ヘルメット、手袋(軍手)					
参加者数	子どものみ	13	名	小学校1~3年生	7	名
				同 4~6年生	4	名
				未就学児	2	名
				中学校生	0	名
	その他(保護者など)	10	名			
参加者・保護者の感想	自転車を拭いてなかったもので、これからは自転車を大切に乘ろうと思った。自転車で走ったコースは坂を自転車を持って上がったり、段差があたりして怖かったけどとても面白かった。(参加者) 想像していたよりも広い場所で、子どもたちものびのびと楽しんでいるようだった。この教室を通して外で遊ぶことの面白さを感じてほしいと思う。(保護者)					
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	子どもの自転車教室は、島根県内では雲南市が先駆けて行うということで多少不安もあったが、子どもたちがとても楽しそうに自転車に乗っている姿を見て、子どもの教室の展望をしっかりと考えていかなければならないと感じ、また近い将来に開催したいと思う。(講師) 天気も良く会場も広い場所だったので、子どもたちも気持ち良く走っているのが見て取れた。これからも自転車に興味を持って、生涯スポーツとして自転車に乗り続けてほしいと思う。(職員)					

<活動写真>



写真①:ペダルを漕がずにバランスを取るの難しいね

写真②:コースには坂を登るところもありました

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年11月1・2日（土・日） 8時00分から
18時00分まで

プログラム名	三瓶研修会						
会場	三瓶青少年交流の家						
内容	参加者を7班に編成して「バームクーヘン作り」からスタート。炭で火を熾し、竹にバームクーヘンの素を塗り、何重にも重ねて作り上げた。各班で協力して、とてもおいしいバームクーヘンが完成した。夕食は、バイキング形式で、それぞれが仲良くなった仲間と食事を楽しんだ。2日目は、今回研修会のメインであるグループワーク登山を行った。休憩・ペース配分など全てグループで相談しながら、山頂を目指した。あいにく山頂の天候は良くなかったが、各グループ共に、達成感を感じたようだ。						
(使用した教材)							
参加者数	子どものみ	40	名	内訳	小学校1～3年生	名	
					同 4～6年生	37	名
					未就学児	名	
					中学校生	3	名
	その他(保護者など)	25	名				
参加者・保護者の感想	子ども)途中で投げ出したくなる時が多々あった。しかし、周りで励ましてくれる仲間に助けられた。何かする時には、誰かの支えがあって出来るんだと学んだ。今回一緒に、登山した仲間に感謝している。大人)小学生の年代では、今回の研修会のような実体験が大事である。普段交流の図れない団体が一同に会して、様々なプログラムを通じてコミュニケーションを深める事は、重要であるとする。						
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	バームクーヘン作り、グループワーク登山など、さまざまなプログラムを通じて同世代の子ども達が交流を図り、友情を深め、実りある研修会になった。平成19年度の課題であった「スポ少との連携」について、お互いの団体が協力し取り組むことができた。今後は更なる連携・協力のもと、プログラムの充実を図りたい。今回のプログラムを通じて、雲南市における健全育成に明るいものを感じることができた。						

<活動写真>



写真①:おいしそうー



写真②:おかわり

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成20年12月13日(土) 9時30分から
15時00分まで

プログラム名	加茂町のウォーキングマップを作ろう					
会場	加茂町周辺					
内容	○ヤマタノオロチの伝承地を巡る加茂町10kmコース 準備体操→神原神社→赤秦神社→八口神社(草枕)→尾留神宮旧社地→御代神社にて昼食 海洋センターでまとめ、感想					
(使用した教材)						
参加者数	子どものみ	6	名	小学校1～3年生	4	名
				同 4～6年生	1	名
				未就学児	0	名
				中学校生	1	名
	その他(保護者など)	1	名			
参加者・保護者の感想	友達や知り合いの人のお家を知ることができて良かった。色々と神社を見て、すごく古さを感じた。ヤマタノオロチを宝剣の天叢雲剣(あめのむらくものつるぎ)で倒し、オロチの尾が斬り留められたと聞いて驚きました。(参加者)					
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	新聞やマスメディアによると、最近の子どもたちはテレビゲームや屋内でしか遊ばないという傾向が見られるが、今日参加した子どもはとても明るく元気よく、挨拶もしっかりとしていて驚いた。加茂町のことを子どもたちにもっと知ってもらい、今後も学習してほしい。(講師)ヤマタノオロチの伝承地を探訪し、加茂町の歴史を再認識することを目的として行った。今後は、町中などその他の場所を歩き、色々なルートのウォーキングマップを作っていきたいと思う。(職員)					

<活動写真>



写真①: 赤秦神社について学習する



写真②: 尾留大明神旧社地で小林さんのお話を聞く子どもたち

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成 21 年 1 月 10 日（土） 10 時 00 分 から
12 時 00 分 まで

プログラム名	島根SANYOソフトボール教室			
会場	雲南市加茂B&G海洋センター			
内容	○ソフトボール教室 開校式→ランニング→準備体操→鬼ごっこ→キャッチボール→捕球の練習→ティー ストラックアウト→スピード体験(三洋の選手が投げるボールスピードを体感する) 三洋 vs 子どもチームでミニゲーム→閉校式			
(使用した教材)	ティーバット、グローブ、ボールなど			
参加者数	子どものみ	45	名	小学校1～3年生 2 名
				同 4～6年生 8 名
				未就学児 0 名
				中学校生 35 名
	その他(保護者など)	15	名	
参加者・保護者の感想	グローブの上手な使い方、バッティングの時は下半身から捻ってボールを打つことなど、とても参考になりました。三洋ソフトボール部の方が投げたボールをバッターボックスに立って体感したが、とても速くて驚いた。今日教えていただいた事を、練習に生かしていきたいと思う。(参加者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	前回と比べて参加者も多く、雲南市内の子どもたちはとても元気があり、またやる気・意欲があるな、と感じた。そして今回教室を行ったことで、選手ひとりひとりが子どもたちと触れ合い、自分の言葉で人に伝える難しさを知り、選手の気持ちも向上するのではないかと期待している。今回教室を企画していただいた事に感謝している。(講師) 選手が教えている時、子どもたちはもっとうまくなろうと真剣な表情で聞いていた。子どもたちに健全な方向に育成することが重要なことだと改めて感じた。(職員)			

<活動写真>



写真①下半身を軸にして打とう！



写真②三洋の選手が投げるボールは速かったね

活動記録 一日誌一

〔実施日〕平成 21 年 2 月 7 日（土） 13 時 00 分 から
14 時 00 分 まで

プログラム名	3B体操キッズ			
会場	雲南市加茂B&G海洋センター 第2体育館			
内容	○3B体操 ボール、ベル、ベルターを使用した運動、リズム体操			
(使用した教材)	ボール、ベル、ベルター			
参加者数	子どものみ	12	名	小学校1～3年生 9 名
				同 4～6年生 1 名
				未就学児 2 名
				中学校生 0 名
	その他(保護者など)	5	名	
参加者・保護者の感想	いつもベルターで長縄跳びをやっていて、前は6回しか跳べなかったけど、今日は10回以上跳ぶことができうれしかった。ベルを使ったリズム体操がおもしろかった。ベルを使ってみんなで円になったとき、バランスをとるのがすごく難しかったけど楽しかった。また3B体操キッズに参加したい。(参加者)			
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	子どもたちは元気に動いていて、楽しそうに運動しているようだった。最近是一緒に来ている保護者の方にも参加していただいているので、子どもたちもより楽しく運動しているのだと思う。子ども達がいきいきと楽しく3B体操をしているので私達も楽しんで3B体操キッズをやることことができる。(講師)			

<活動写真>



写真①: なわとびも簡単に跳べるようになったよ



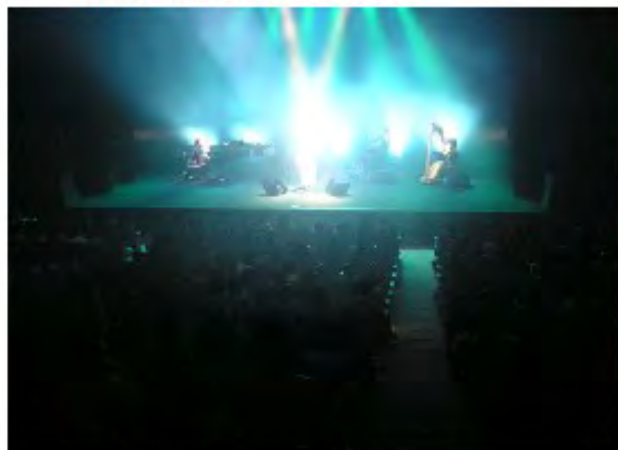
写真②: みんなで楽しくベルで体操したよ

活動記録 一日誌

〔実施日〕平成 21 年 2 月 28 日 (土) 14 時 00 分 から
15 時 30 分 まで

プログラム名	親子夢未来コンサート～六子(ろこ)ライブ!～				
会場	ラメール(大ホール)				
内容	加茂幼小中PTA連携協議会と共催事業 六子トーク&コンサート、10年後の自分への手紙を書く、六子サイン会				
(使用した教材)					
参加者数	全体	450	名	小学校1～3年生	名
				同 4～6年生	名
				未就学児	名
				中学校生	名
	その他(保護者など)		名		
参加者・保護者の感想	子どもと一緒に聴けるコンサートの企画は良かったです。初めてコンサートを聴いて子どもが楽しそうでした。10年後の自分へ手紙を書く時の真剣な顔が、普段とは違って印象的でした。(保護者)				
特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入)	手紙を書くコーナーでは、思ったよりもたくさんの参加があり驚きました。ふれあいホールに用意されたテーブルいっぱい集まった子どもたちが10年後の自分に向けた手紙を書いていました。声を掛けると恥ずかしそうに想いを話してくれたり、コンサートの感想を語ってくれる子もいました。それぞれの心に感動を与える今日のイベントでした。(職員)				

<活動写真>



写真①:素敵なライブでした



写真②:10年後にどんなお手紙が届くかな?